



湯浅保健所における 新型コロナウイルス感染症対応について

和歌山県有田振興局

健康福祉部(湯浅保健所)

保健課長 平井 佳津



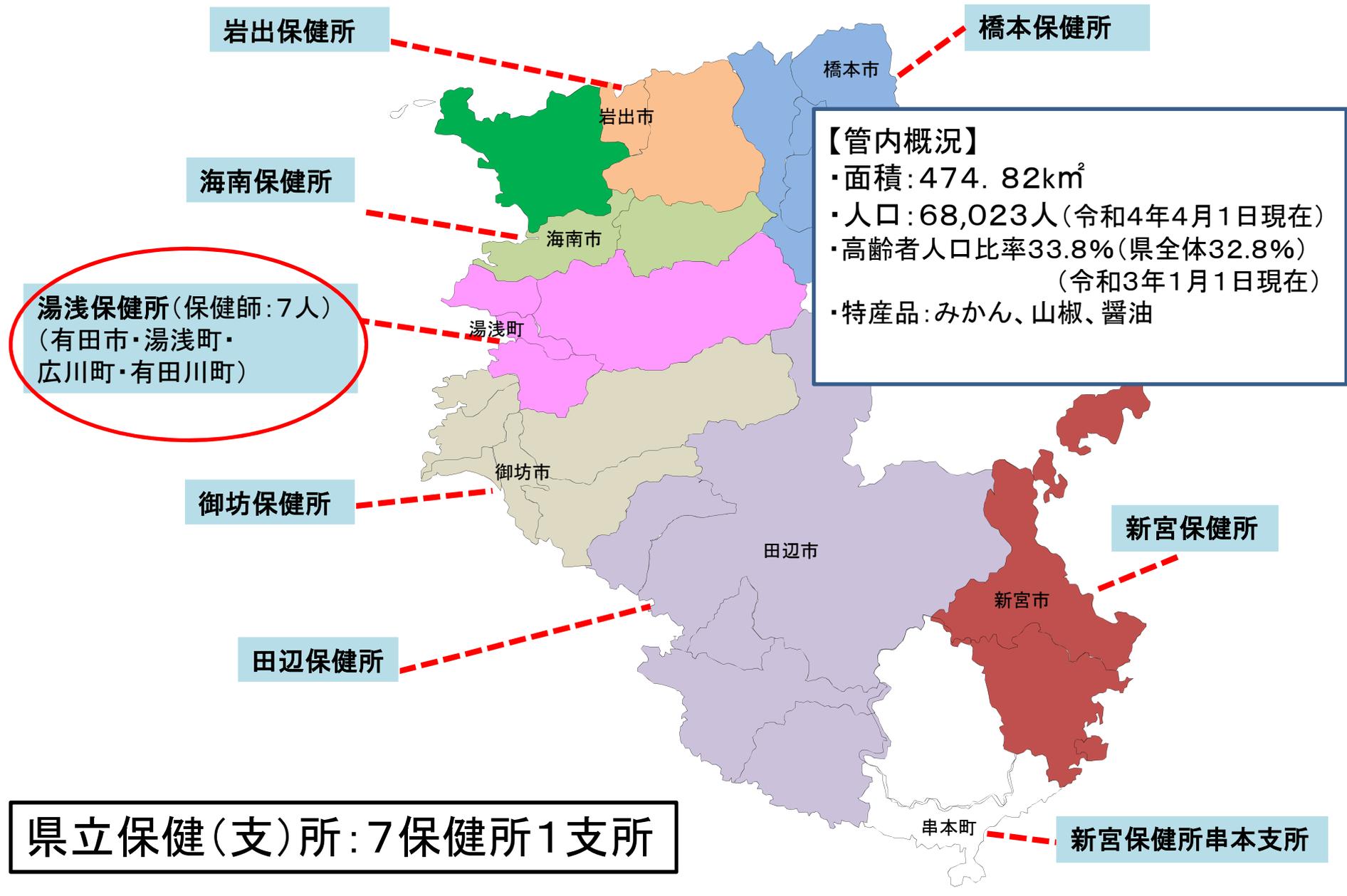
本日のお話

- 湯浅保健所の概況及び体制
- 新型コロナウイルス感染症の状況
- コロナ禍における保健所体制
- コロナでのエピソード
- コロナの経験をふまえて



湯浅保健所の概況

R4.4.1現在



湯浅保健所の体制

【総務福祉課】:生活保護、高齢者及び障害者福祉等

【衛生環境課】:食品衛生、動物愛護、環境衛生等

【保健課】

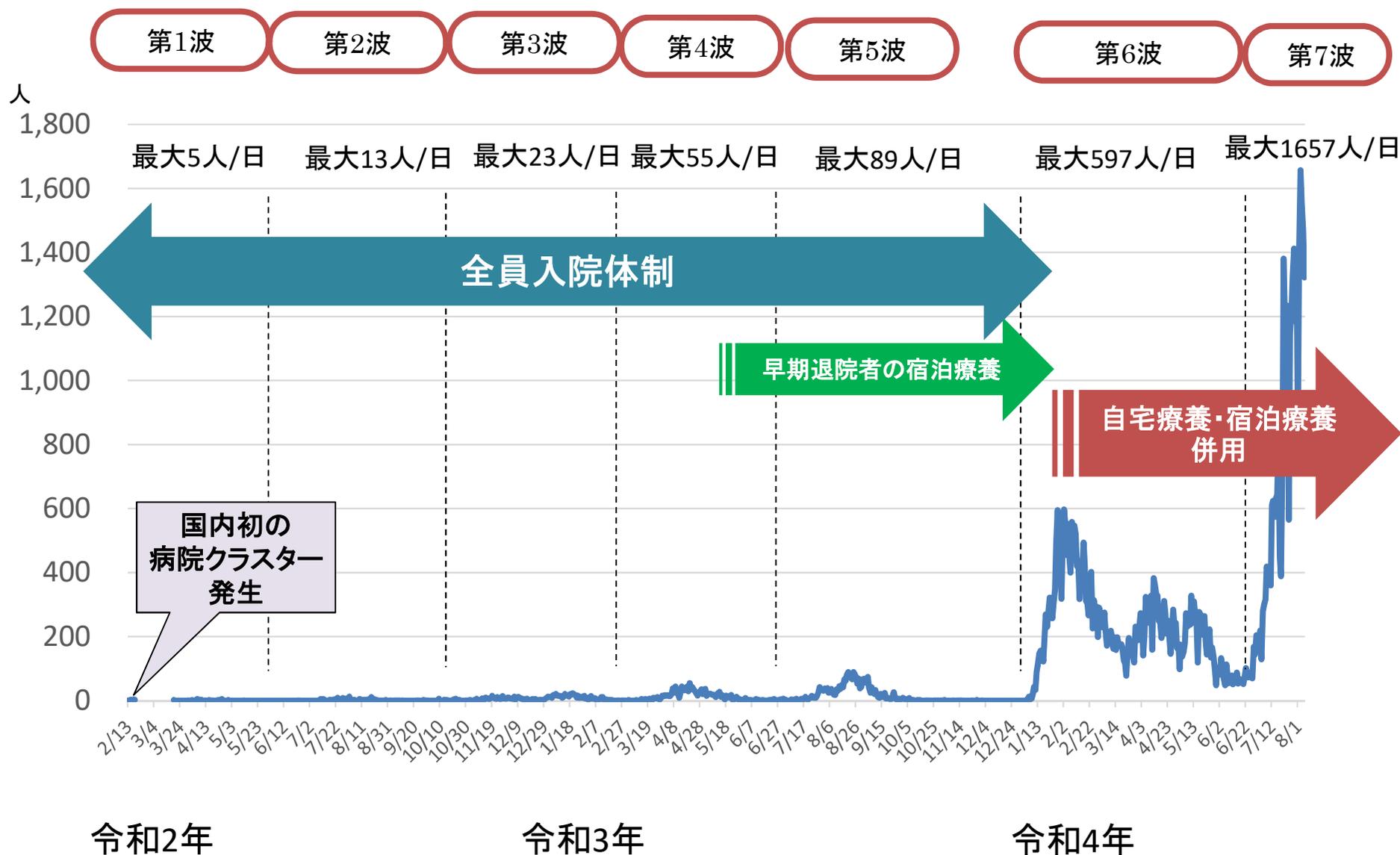
○保健グループ

新型コロナウイルス感染症、結核、災害医療、
地域医療構想等

○健康グループ

精神、難病、母子、健康づくり等

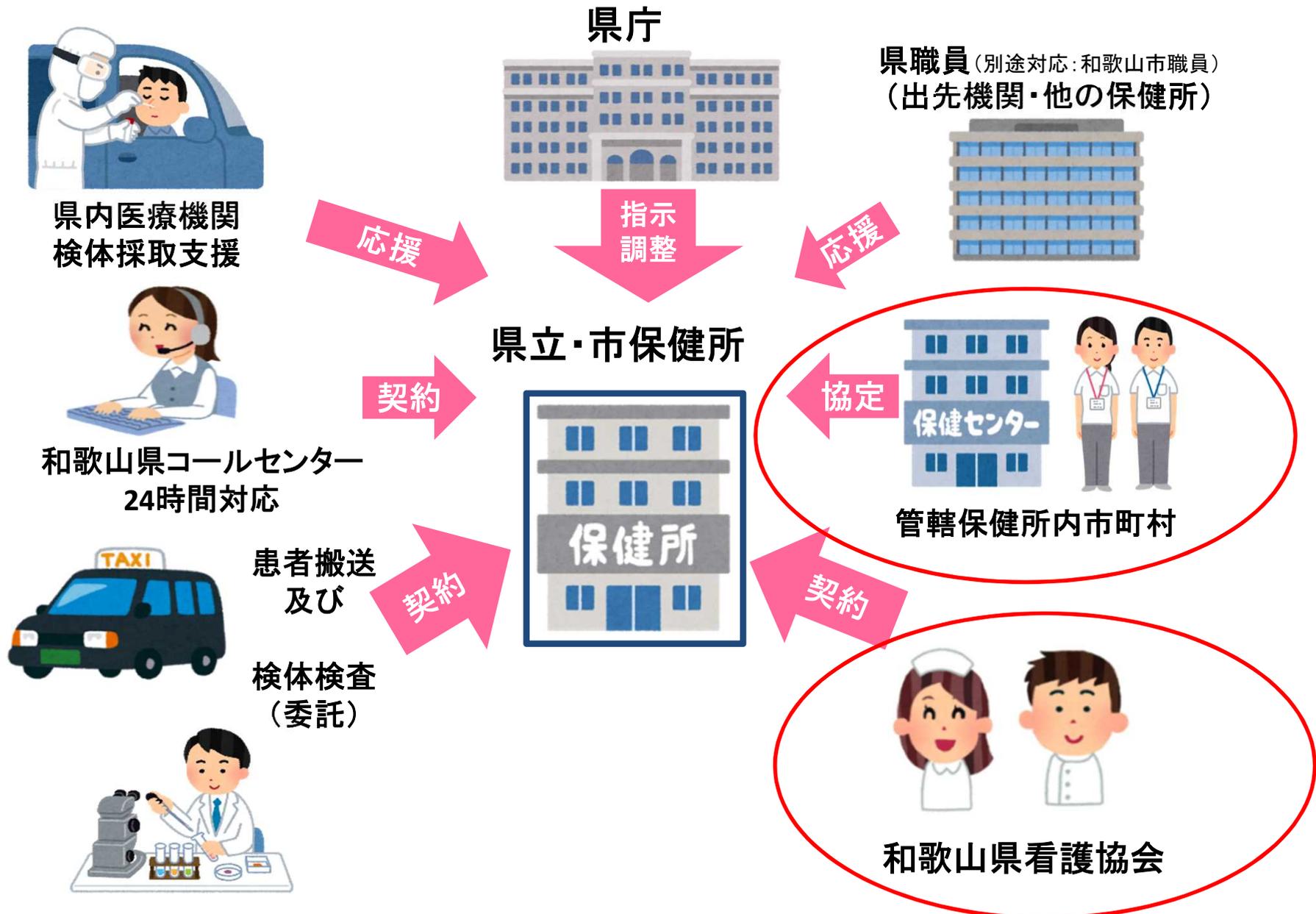
和歌山県における新型コロナウイルス感染症の状況 (新規陽性者数の推移)



和歌山県と湯浅保健所における新型コロナウイルス感染症 の状況(経緯)

	和歌山県の主な出来事	湯浅保健所の主な出来事
第1波	2月13日県内で初陽性者確認、国内初の病院クラスター発生を確認 県内医療機関における原因不明肺炎症例の把握 全都道府県緊急事態宣言に伴う行動制限	・国内初の病院クラスター発生
第2波	健康観察等の保健所業務支援の委託開始(看護協会)	
第3波	クラスター多発(飲食・カラオケ・イベントや高齢者施設) 健康観察等の保健所業務応援協定締結(市町村)	・有熱者検査センター設置 ・ワクチン接種体制整備開始
第4波	クラスター多発(飲食・カラオケ・イベント) 患者受入病床の増床 早期退院者を対象とした宿泊療養の開始 ワクチン接種開始	
第5波	クラスター多発(職場関係、学校関係)、大規模クラスター発生 患者受入病床の増床 病院・福祉施設の大規模クラスター発生に伴う 感染対策チーム(医師・看護師)派遣	
第6波	高齢者施設等への医療従事者派遣開始(感染管理・往診・訪問看護) 自宅療養併用開始 自宅療養患者と診療所医師のマッチング開始 自宅療養担当医バックアップセンター開設 保健所への検体採取業務支援の開始	・高齢者施設等クラスター続発 ・自宅療養患者と診療所医師の マッチング開始
第7波	患者発生届出・健康観察システム改修	

コロナ禍における保健所体制 (令和2年11月～)



新型コロナウイルス感染症に係る保健所体制強化 のための保健所支援（令和2年10月15日）

- ・和歌山県と和歌山県看護協会が保健所支援業務に係る契約締結

支援業務内容

- ・新型コロナウイルス感染症療養者等の健康観察
- ・県立保健所に設置している「新型コロナウイルス感染症専用相談窓口(健康相談)での電話対応
- ・県立保健所におけるPCR検体採取(行政検査)に係る補助業務



市町村職員の保健所相談等業務の実施 に関する応援協定書（令和2年11月1日）

- ・和歌山県と県内市町村との新型コロナウイルス感染症に係る保健所相談等業務に係る協定

応援業務内容

- ・新型コロナウイルス感染症療養者等の健康管理
- ・新型コロナウイルス感染症専用相談窓口(健康相談)での電話対応
- ・上記相談業務等に付随する記録及び事務処理等



コロナ禍における保健所体制(湯浅保健所)

第1波 第2波 第3波 第4波 第5波 第6波 第7波

患者の療養場所

入院

全員入院

宿泊療養

自宅療養

関係機関

コロナ入院医療機関・診療検査医療機関・県庁

健康観察協力医療機関

市町村保健師

市町村保健師

感染管理認定看護師

看護協会

検体採取従事者

応援

所内・振興局

コロナ禍における保健所体制(第7波:令和4年8月5日現在)

項目	内容
積極的疫学調査	<ul style="list-style-type: none">・2歳以下の方、60歳以上の方、基礎疾患のある方、症状悪化のある方に電話調査を実施・上記以外の者は、本人がHER-SYSに入力
患者の健康観察	<ul style="list-style-type: none">・My HER-SYSで実施・医師会による健康観察・必要に応じて、保健所でも実施
濃厚接触者の健康観察	<ul style="list-style-type: none">・自宅待機し、自身で体調管理→症状が出れば、受診、検査
PCR検査	<ul style="list-style-type: none">・症状があれば、受診検査・高齢者、障害者施設等は実施
入院調整	<ul style="list-style-type: none">・県庁、保健所でトリアージし、県庁で入院医療機関の調整
患者搬送	<ul style="list-style-type: none">・必要に応じて、委託業者で搬送

コロナ禍における保健所体制（クラスター対応例）

施設

患者複数発生

収束

保健所の役割

【感染拡大防止】

・検査の実施・感染管理認定看護師の現地指導

【患者の重症化予防】

・入院、患者搬送調整・施設職員、協力医・薬局との連携

【職員の身体的及び精神的サポート】

・電話相談（状況把握時等に実施）

コロナでのエピソード(医師会)



・診療検査医療機関が少ない・・・

・健康観察協力医療機関数が少ない・・・

・特定の健康観察協力医療機関への依頼数が多い・・・

・医師会のキーパーソンに相談

・健康観察協力医療機関の拡大



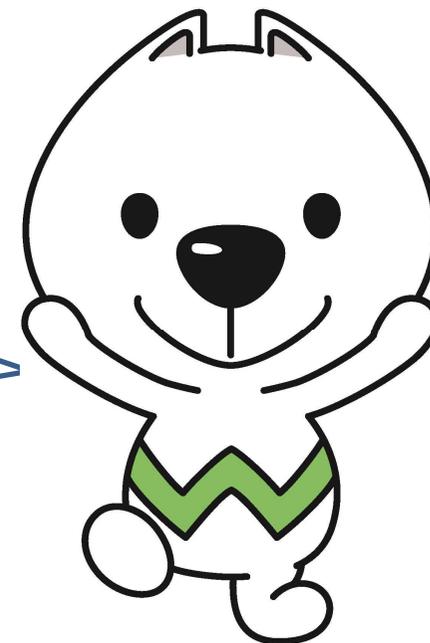
コロナでのエピソード(新人保健師の思い)



・診療情報等、知識不足により回答できず、しんどかった。

・患者への対応として、丁寧に話を聞くこと(傾聴)を心がけた。

今後、コロナ対策全体の中での自分の役割を明確にしていきたい。保健師としての専門知識と公務員としての行政知識が必要である。



コロナでのエピソード(育休明け保健師の思い)



・周りは、コロナ対応の経験がある人ばかり。
忙しくバタバタしており、質問できない雰囲気だった。

・患者への対応として、とにかく話を聞くことを心がけた。

・未知の出来事に対し、みんなで試行錯誤しながら、解決・構築していく過程が経験できた。



コロナの経験をふまえて



住民のいのちを守るために

人材育成の充実



関係機関

- ・医師会・病院・消防
- ・高齢者等施設
- ・学校・保育所
- ・県庁・市町 等



感染予防と
感染拡大の防止



基盤となるもの

コロナでの経験

すべては住民のためと思う気持ち

コロナの経験をふまえて

どのような健康状態でも
その人らしく暮らしていける社会

「医療」の視点



「生活の質」の視点

看護の将来ビジョン

いのち・暮らし・尊厳を
まもり支える看護

御静聴ありがとうございました

